

## 第2章 経営革新推進のプロセス

### 1. 経営革新のプロセス図

経営革新のプロセスとして、経営革新計画・フォローアップまでのプロセス図を図表 2-1-1 に示す。  
この図には、経営革新の各ステップで使用する代表的なツール（手法・指標）も示した。

### 2. 経営革新のプロセス図の説明

#### (1) 経営革新のプロセスの理解

経営革新を推進するに当たりプロセスを充分理解する。大きな枠組みは、現状把握 → 経営革新の構想策定 → 経営革新を実現する経営計画の策定 → 経営計画の実践とフォローアップである。

(図表 2-2-1 参照)

現状把握により経営革新が必要と判断された場合には、経営革新構想を策定し、経営革新計画を策定する。その実践とフォローアップにより、経営革新を確実に推進することが必要である。

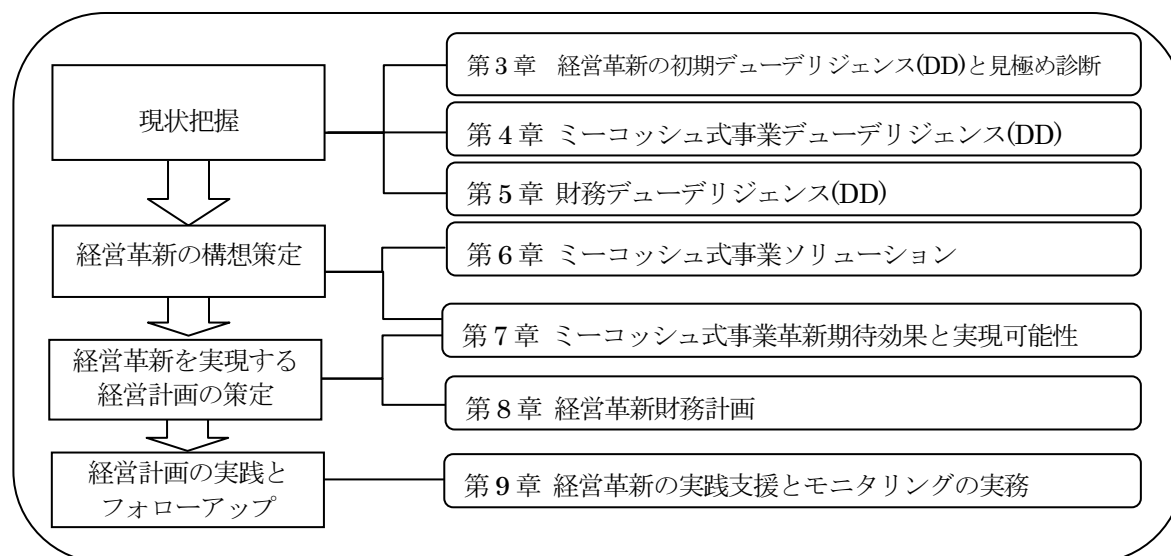
現状把握は、第3章 経営革新の初期デューデリジェンス(DD)と見極め診断、第4章 ミーコッシュ式事業デューデリジェンス(DD)、第5章 財務デューデリジェンス(DD)で構成される。

経営革新の構想策定は、第6章 ミーコッシュ式事業ソリューションおよび第7章 ミーコッシュ式事業革新期待効果と実現可能性の一部からなる。

経営革新を実現する経営計画の策定は、第7章 ミーコッシュ式事業革新期待効果と実現可能性の一部 および第8章 経営革新財務計画 で述べる。

経営計画の実践・フォローアップ は、第9章 経営革新の実践支援とモニタリングの実務 で述べる。

図表 2-2-1 経営革新のプロセスと各章との関係



なお、プロセス図の経営革新のステップは、対象企業の状況により必ずしもこの通り進む必要はないが、一つの例として示している。

